

本時の学習（12時間予定 本時はその4）

（1）ねらい

グループで話し合うことを通して調和のとれた献立について考えることができる。

（2）人権教育の視点

グループで意見交換しながら友達の意見の良い点に気付くことができる。

（3）準備 学習ノート

（4）展開（きめ細かな指導）

学習内容	時間	支援及び指導上の留意点	評価規準（方法）
1 本時の学習の内容を確認する。	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が考えた献立をもとにグループで話し合い意見をまとめ、グループで一つお楽しみ献立を決定することを知らせる。</li> <li>前時に話し合った献立を考えるときに留意することを生かし話し合うように確認する。</li> <li>グループはあらかじめ決めてある生活班を活用し、一つの班6～7人で全部で6班で構成する。</li> <li>席を移動させ、話し合いのルール（声の大きさ、司会や班長の役目など）を確認し献立作りを始めさせる。</li> </ul>	（十分満足な状況 おおむね満足な状況）
2 グループごとに話し合いお楽しみ献立を考える。	35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間巡視を行い、各班の進行状況を把握するとともに必要に応じ助言する。</li> <li>グループ内での一人一人の学習の様子や話し合いの様子を観察し評価に生かす。</li> <li>一人一人が考えた献立を見せ合ったり、話し合ったりしながらお互いの良い点や改善点が言えるようにする。</li> <li>互いの好みや希望を生かしつつ一つの献立に決定するようにさせる。</li> <li>学習ノートのもりつけ図を使って具体的に主食やおもなおかず、汁物や補う食品など考えさせる。</li> <li>献立が考えられた班には工夫したことや献立作りで気を付けたことも学習ノートに記入させるようにする。</li> <li>自分たちが調理することが可能な献立であることが望ましいことにもふれておく。</li> <li>おおまかにその献立を作る際に必要な材料についても考えさせておく。</li> <li>学習が進んでいる班には次の課題として、材料の食品を分類し、学習ノートに記入させる。 （分類は「おもに体をつくる」「おもに熱や力のもとになる」「おもに体の調子を整える」の3つに分ける）</li> </ul>	積極的に意見交換しながら、献立作りを考えている。 （観察） 友達の意見を聞きグループとしての献立を考えている。 （観察）
3 本時の学習内容を確認し、次の学習予定を知らせる。	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>決定した献立を提出させる。</li> <li>次時には、材料を話し合い食品の分類を確かめることや作り方や作る順序を学習ノートに記入することを知らせる。</li> <li>班ごとに決定した献立は、献立発表会で意見交換することや栄養士に選定してもらうことを知らせる。</li> </ul>	